

竹下家で育った百日草【ジニア】の種（大輪系・小輪系混合）

成長が早くて丈夫で育てやすく、名前の通り夏から秋まで長い間咲き続け、花壇を明るく彩ってくれる花です。



学名：Zinnia

科名：キク科

属名：ヒャクニチソウ属

分類：草花（一年草）

大きな種は花径約 10cm のゴージャスな大輪の花を、小さな種は小～中輪の花を咲かせ、切り花でも楽しめます。

育て方

発芽温度：15～20℃ 発芽日数：4～10日 成育温度：20～30℃

開花まで：約 80 日 まきどき：4 月～7 月

各地域の環境条件に応じて播種等の栽培時期を変更調整してください。

1. 3号ポットやセルポットに種まき用土を入れ、種を蒔きます。覆土を 5 cm くらいかけ、軽く押さえます。

ポイント

花壇やプランターの直播よりは、ポットで管理して育てた苗を移植の方が、成功率が高いと思います。生育の早いもの、旺盛なもののみを育てると、花色が偏るそうです。徐々に間引いて一本立てにするのが普通のやり方ですが、

セルポットに種を 1 個ずつ蒔いて芽が出た苗を全部育てても、ちゃんと花をつけてくれます。どんな貧弱な苗でも、最後には頑張っ花をつけてくれる頼もしい花です。種を何回かにわけてまくと、新しい花を楽しめる回数が増えるでしょう。

2. 花壇や鉢の準備をします。

ポイント

花壇の場合は、水はけが良く通気性のある有機質に富んだ土を好みます。鉢植えの場合は、草花用の培養土で大丈夫です。日当たりと風通しの良い場所で育ててください。

3. 本葉が 6～7 枚になったころ、株間 30～40cm で植え付けます。鉢植えの場合は 5 号鉢以上がお勧めです。

ポイント

直根性の性質で移植を嫌いますので、植え替え回数は少なくし、植え付け時は根を触らないように気を付けてください。

4. 肥料のやり過ぎは禁物ですが、肥料が切れると花が小さくなります。
5. やや乾き気味に管理しますが、夏場は十分水やりしてください。背丈が 80～100 cm ほどになるので、支柱が必要になることがあります。
6. 梅雨の季節にはうどんこ病になりやすいので、鉢植えは軒下に置いたり、花壇にもマルチングをするといいでしょう。
7. 花殻をこまめに摘み取り 8 月中旬に切り戻すと、秋にも咲きます。涼しい地方だと、夏の間も花を咲かせ続けます。切り花として楽しみながら切り戻しして、株を大きくして育てるといいでしょう。

竹下家の百日草との関わり

28 年前に福富町に移住した時、町から町民に百日草の種が配られました。ポンポン咲くという謳い文句だったので、蒔けばポンポン咲くのだろうとパラパラと土地に種をばら蒔いてみたのですが、何も生えませんでした。



さて、コロナのひきこもり生活をしていた時、「大輪百日草」という種が 98 円で売られているのを見つけ、その時のリベンジと思って、セルポットに種を蒔いて、丁寧に育ててみたのです。すると、発芽率も生育もよく、セルポットからポットに移し替え、その後に地面に植え替えました。

そうしたら素晴らしい花をつけてくれました！

生育が遅くちょっと弱々しかった苗も捨てることなく、いつも目に留まる花壇に植えて毎日見ていたら、それもちょうど花をつけてくれました。



冬になって枯れた花から種取りして、昨年、その種をセルポットに蒔いて 100 個以上の苗を育てて、敷地のあちこちに植えたところ、美しいお花の空間が出来上がったのです。

ちなみに、一昨年に使わずに残っていた小輪系の種も育てたのですが、

敷地のあちこちが美しく彩られて、多くの方に褒めていただきました。



百日草なんてと思っていた私だったのですが、種を取って育てればちゃんと花をつけてくれる、とても優秀な花だと思いました。そして、育てる喜びのおすそ分けが出来たらいいなと、昨年末に咲いていた花が霜で枯れた後、すべての花殻を摘み取って株ごとに保管しておき、今年の 3 月に、花殻 1 つ 1 つから優良と思われる種を取り出して、なるべく種の種類が均等になる様に振り分け、合計で 25 の種袋を準備しました。

昨年は種蒔き後に 8 割近くが発芽したのですが、今回の種取りが 2～3 回目の種取りであり、これを蒔いた時にどれくらいの確率で発芽するかデータを持ち合わせておりません。

そのため、うまく発芽しない可能性もあり、その場合は、ご容赦ください。



多めに種を入れているので、うちの百日草の子孫たちを、皆様のお手元でうまく育てていただけたら、種が廃棄にならず、百日草も喜ぶことと思います。

パータ　こと　泰子